

令和5年度第3回横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会
議事録

開催日時 令和5年10月5日(木) 午前10時00分～
会場 ウェルシティ市民プラザ3階 第1研修室
出席者
委員 磯崎順子、稲垣恭子、井上宜生、高宮光、田中和美、
中山直子、林但(敬称略、五十音順)
事務局 川田 貴久江：健康部健康増進課長
高橋 邦子：健康部健康増進課主査
広瀬 裕一：健康部健康増進課主査
桑畑 小夜：健康部健康増進課主査
望月 朋美：健康部健康増進課主任
福岡 明子：健康部健康増進課主任
勝又 綾子：健康部健康増進課主任
委託業者 1名
一般傍聴人 1名
欠席者 佐藤廣(敬称略)

1 開会 事務局(健康部健康増進課長)が司会となり開会した。

2 配布資料の確認

3 部会員の出欠について

議事録作成のため委託業者が1名同席の旨を報告した。

4 本部会の流れについて事務局から説明

これより先は、部会長による議事進行で行われた。

5 議事

議事(1)「(仮称)健康推進プランよこすか」案について

事務局より、資料1により、「(仮称)健康推進プランよこすか」案について、「Ⅲ
中心となる計画の柱と重点施策」まで説明した。

・部会長より、意見、質問等を求めた。

部会員意見等・24ページ「Ⅲ 中心となる計画の柱と重点施策」「1 健康増進計
画」「2 社会とのつながり・こころの健康の維持および向上」につ
いて、社会参加をすすめるような表現への変更は、とてもいいことだ
と思う。

部会長 50 ページ「関連計画など」及び 51 ページ◎と○の説明の文字の大きさが小さい。

事務局回答 文字の大きさについて修正する。

事務局より、資料 1 により、「(仮称)健康推進プランよこすか」案について、「IV 取り組み分野と評価指標」取り組み分野①栄養・食生活から③休養・睡眠まで説明した。

- ・部会長より、意見、質問等を求めた。

部会員意見等・29 ページ取り組み分野①栄養・食生活 3 行目「若い女性のやせ」の BMI は 18.5 以下ではなく 18.5 未満ではないか。

事務局回答 ご指摘のとおり、18.5 未満のため修正する。

部会員意見等・横須賀市は肥満者が多いということだが、米軍基地の人は含まれているのか。

事務局回答 含まれていない。

部会員意見等・31 ページ取り組み分野②身体活動・運動の評価指標では、「1 日 30 分以上の運動を週 2 回以上している人の割合」となっており、これは国の指標なのか。神奈川県では週 3 回 30 分の運動をする「3033 (サンマルサンサン) 運動」を推進しているため、週 3 回の運動を推進するイメージがあった。

- ・国の特定健診、いわゆるメタボリックシンドロームに着目した健診では 40 歳から 74 歳までの標準的な質問票の中で 1 日 30 分以上の軽く汗をかく運動を週 2 回以上、1 年以上実施となっている。

目的がメタボリックシンドロームの予防か、健康増進のためかで違うのではないか。

部会長 視点が異なることはわかった。その基準などを記載するのも良いかもしれない。

事務局回答 現計画と同様の指標のため、記載方法について良い方法があるか検討する。

事務局より、資料 1 により、「(仮称)健康推進プランよこすか」案について、「IV 取り組み分野と評価指標」取り組み分野④飲酒から⑥歯・口腔の健康まで説明した。

- ・部会長より、意見、質問等を求めた。

部会員意見等・前回より今回の方が見やすくなった。

部会長 33 ページ取り組み分野④飲酒に関係するが、日本酒 1 合とビール中瓶 1 本の純アルコール量を調べたところ大体同じ 20g だった。

また、35 ページ取り組み分野⑥歯・口腔の健康について、評価指標に「オーラルフレイルを知っている人の割合」があるので、36 ページに記載の「オーラルフレイル」のコラムを 35 ページの下部に入れたら

どうか。

- 事務局回答 35 ページ下部に入れることを検討する。
- 部会員意見等・35 ページ取り組み分野⑥歯・口腔の健康の評価指標の内容について、唐突に出てきた印象を受けた。例えば、「歯肉に異常所見がある中学生の割合」は小学生との比較や中学生の割合の高さなどの記載があった方が見た人はわかりやすいと思った。
- 事務局回答 取り組み分野⑥歯・口腔の健康の評価指標は、歯及び口腔の健康づくり推進計画の課題を挙げている。小学生・中学生のむし歯は減少しているが、歯肉の状態が悪くなっている子どもが増えていることが課題となっている。
- 部会員意見等・小学生ぐらいだと、歯をしっかり磨いていなくても、歯肉の炎症は起きにくいと思われる。歯磨きの状況は地区によっても差がある。小学校の健診の項目に歯肉の異常は入っていないのか。
- 事務局回答 小学校の健診では、歯肉炎の項目は入っている。
- 部会員意見等・小学校の健診で、歯肉炎の項目があっても、数値は低いと思われる。高校生だと中学生より高いと思うがどうか。
- 事務局回答 データを持ち合わせていないが、学校歯科医の肌感覚ではむし歯は減っているが、歯肉の状況がよくない子どもが増えていると聞いている。
- 部会員意見等・中学生の割合が急に記載されていると、違和感がある。
- 事務局回答 経年中学生のデータをとっており、歯肉に異常がある中学生が増加傾向にあることがわかっている。
- 部会員意見等・むし歯は減少して歯肉に異常がある中学生が増加している原因は噛みしめなどか。
- 事務局回答 むし歯が減少している理由は、歯を大切にする人が増え、歯科衛生が広がったことや、歯磨き剤に含まれるフッ化物により自然にむし歯が減っているのではとされている。歯肉の状況はきちんと歯垢が取れていなこと、食生活の乱れや、噛みしめも影響していると考えられる。
- 部会長 本文にはむし歯が減少していて歯肉の異常が増えていることが記載されているので承知した。
- 事務局より、資料1により、「(仮称)健康推進プランよこすか」案について、「IV 取り組み分野と評価指標」取り組み分野⑦がんと⑧循環器病・糖尿病について説明した。
- ・部会長より、意見、質問等を求めた。
- 部会員意見等・38 ページ取り組み分野⑧循環器病・糖尿病の評価指標について、国民

- 健康保険加入者のみのデータのため、他の健康保険に加入している市民が見たときに健康診断の結果と同様の判断をしてしまわないかという懸念がある。国民健康保険加入者のデータだという記載があってもよいと思う。また、国の基準などと比較されていないので、この部分だけ見ると横須賀市全体として判断に悩むところがある。
- 事務局回答 確かに国民健康保険の方のデータを活用しているので表記が必要だと思っている。国の基準と記載については、関係課と調整しながら検討させていただきたい。
- 部会長 同じく 8 ページ取り組み分野⑧循環器病・糖尿病の評価指標で、年齢調整死亡率があるが、「率」だと「%」などで書くべきではないか。人口 10 万人あたりという「人」なのか。
- 事務局回答 「%」の場合は 100 当たりの割合なので、10 万人単位だと表記する単位がない。10 万人当たりの割合なので、「人」でもない。
- 部会長 私は「人」でもよいと思う。単位がないと分かりづらい。
- 部会員意見等・34 ページ取り組み分野⑤喫煙・慢性閉塞性肺疾患（COPD）の評価指標は人口 10 万人当たりを「人」と記載している。
- 部会長 その方がわかりやすいと思う。統一してほしい。
- 事務局より、資料 1 により、「(仮称)健康推進プランよこすか」案について、「IV 取り組み分野と評価指標」取り組み分野⑨食育の推進から⑬誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備について説明した。
- ・部会長より、意見、質問等を求めた。
- 部会員意見等・40 ページ取り組み分野⑨食育の推進の評価指標「災害に備えて食料品を備蓄している市民の割合」について、ここだけ「市民」になっているので他の指標と同様に「人」とした方がよい。
- 事務局回答 「人」に統一する。
- 部会長 同様の評価指標について、1 日でも備蓄している人を含むということか。
- 事務局回答 3 日以上食料品の備蓄をしている人は市民全体から見ると 3 割強と少なかったため、まずは 1 日分だとしても意識をもって食料品を備蓄する人を増やすことが大切だと思い評価指標とした。
- 部会長 3 日分というのは必要な備蓄量なので、コラムには入れるということでしょうか。
- 事務局回答 評価指標を変えたことに伴い、コラムを追加した。
- 部会員意見等・44 ページ取り組み分野⑫自然に健康になれる環境づくりのコラム下から 2 行目「～声をかけあゆとり」は「～声をかけ合うゆとり」ではないか。

- 事務局回答 ご指摘のとおり修正する。
- 部会員意見等・41 ページ取り組み分野⑩心身の生活機能の維持・向上の評価指標「骨密度検査受診率」について現状値が1.3%で目標値が15%となっておりかなりの飛躍だと思うが、どういう考えか。また、43 ページ⑪社会とのつながりの維持・向上のコラムに「あなたも活躍しませんか？」と問いかけがあるため、連絡先はなくとも、担当課名は記載した方がいい。
- 事務局回答 41 ページ取り組み分野⑩心身の生活機能の維持・向上の評価指標「骨密度検査受診率」について、目標値は国の目標値とした背景がある。確かに飛躍した数値だが横須賀市が力を入れて取り組んでいきたい分野でもあるため、15%とした。
- 部会長 骨密度検査について、医師会としても市に各整形外科でも受診できるよう先日要望した。
- 事務局回答 43 ページ⑪社会とのつながりの維持・向上のコラムについて、ご指摘の通り担当課を記載する。
- 部会員意見等・42 ページ取り組み分野⑪社会とのつながりの維持・向上の本文冒頭で「社会的なつながりを持つことは、・・・」と記載があるが、「社会とのつながり」と「社会的なつながり」で分けているのか。また、この分野では社会参加が重要だと思うので、コラムとして掲載したらどうか。
- 事務局回答 社会的なつながりと社会とのつながりは同義で記載していたため統一する。また社会参加についてわかりやすく工夫する。
- 部会員意見等・夏休みの期間に町内をいくつか回ったが、ラジオ体操に参加する小学生が少ないと感じた。44 ページの取り組み分野⑫自然に健康になれる環境づくりの評価指標でラジオ体操の団体数で現状値が79団体、目標値が増加とあり、賛成だがもう少し何とかならないかを感じている。
- 部会長 自分が子どものころは手帳のようなものにスタンプを押してもらい、義務ではないが義務のように感じていた。
- 部会員意見等・小学生の子どもに郵便局からキャラクターのスタンプラリーのような紙が配られた。私の住んでいる地域ではそれを使って8月に1週間ラジオ体操を行った。同行した家族の話では、10人程度の参加で少ないと感じた。
- 部会長 市からラジオ体操の実施について呼びかけはないのか。
- 部会員意見等・スポーツ推進課では、それぞれの学区に必要な枚数を申告することになっている。

- 部会長 住民から苦情が入ったということはないか。
- 事務局回答 ラジオ体操の実施について苦情は特に届いていない。小学校での一斉配布終了の影響が大きいと思う。健康増進課では、参加者を限定せずに実施している団体にスタンプカードの配布を続けている。最近は商店街でラジオ体操が始まるなど新たな動きもある。ラジオ体操を実施してる会場は、市のホームページに「ラジオ体操会場一覧」として掲載している。ラジオ体操は、取り組み分野⑩社会とのつながりの維持・向上にもつながるので広がっていくよう取り組んでいきたい。子どもの参加については、現代社会にそぐわなくなっている部分があると思っている。
- 部会員意見等・三笠公園や中央公園でも実施していたが、市では登録していないということだった。
- 部会長 家の近所の公園でも高齢者がラジオ体操をやっている。小学校では毎日やっていないのか。
- 部会員意見等・指導する人がいないので実施できないのだと思う。
- ・自分の子どもの幼稚園ではラジオ体操ではなくヒップホップダンスなどに移行している印象がある。小学校はわからない。
 - ・44 ページの取り組み分野⑫自然に健康になれる環境づくりの評価指標「高齢者の通いの場数」は、生きがいの家の数のことか。
- 部会員意見等・生きがいの家の数と同じではなく、ボランティア活動、サロン活動など高齢者が交流できる様々な場所のことを指している。
- 部会長 少し解説があってもいいと思う。
- 部会員意見等・記載について検討する。
- 事務局より、資料1により、「(仮称)健康推進プランよこすか」案について、「IV 取り組み分野と評価指標」取り組み分野⑭子どもから⑯高齢者(65歳以上)について説明した。
- ・部会長より、意見、質問等を求めた。
- 部会員意見等・社会参加は今一番注目されている部分なので強調することは必要だと思う。コロナで外出しないことに慣れてしまった高齢者も多い。社会参加の意味合いが周知できるような解説は必要だと思う。
- 事務局回答 承知した。
- 部会員意見等・この夏に生活していて感じたことだが、駅まで徒歩15分ほどの所に住んでおり、高齢者が歩いている姿をよく見かける。真夏日にも日傘をさしたり帽子を被ったりせずに歩いている方が結構いる。循環バスなどの支援があればよいと思った。
- 事務局回答 循環バスの支援は市直営では行っていない。大型店舗ではサービスと

して送迎をしているところもある。熱中症は高齢者にとっても課題だと思っている。全世代の表記になるが、44 ページ取り組み分野⑫自然に健康になれる環境づくりのコラム「ひと涼み運動」に記載がある。高齢者の熱中症対策としては、地域の見守りというところで、民生委員などに直接チラシを配ってもらったりしている。また、今年度はひと涼み運動に薬局も参加しており、今後はより参加団体が増えていくことが期待できる。プランの表記についてはこのままいきたいと考えている。

部会員意見等・48 ページ取り組み分野⑩高齢者（65 歳以上）について、コラムではフレイルの記載があるが、本文には触れられていない。フレイル予防の表記を本文に入れた方が文章構成がよいと思う。

事務局回答　ご指摘のとおり修正する。

部会員意見等・22 ページ基本方針 1 個人の行動と健康状態の改善で、運動器症候群の記載があるが、説明が欲しいと感じた。
用語説明の 57 ページにロコモティブシンドロームの記載があるので、日本語表記も追記してほしい。

事務局回答　57 ページに日本語表記を追記する。

部会長　全部でなくても、なじみのない用語には説明を記載するとよい。

部会員意見等・22 ページ 1 個人の行動と健康状態の改善 5 行目「…メンタル面の不調なども…」は「…メンタル面の不調などを…」の方がわかりやすい。
・ロコモティブシンドロームについては、22 ページにのみ記載されているが、高齢者の運動器に関する内容なので、48 ページの取り組み分野⑩高齢者の本文にも記載した方がよい。

事務局回答　22 ページを修正、48 ページに追記する。

部会員意見等・50・51 ページについて、関連計画などの並び順にばらつきがあるように感じる。理由があれば教えてほしい。

事務局回答　現在は組織準に並べているので、検討する。

部会員意見等・8 ページ取り組み分野④食育で、学校給食における地場産物を使用する割合について、現状値が中間値から下がっているが原因は何か。

事務局回答　所管する学校食育課から、牛乳の産地が県内産でなくなった影響があると聞いている。

部会員意見等・小学校で毎月配布される給食の便りに、おそらく今年から産地の記載が追加された。そういったところで意識が変わってくると思う。

議事（2）今後のスケジュールについて

事務局より、今後のスケジュールについて説明した。11 月にパブリック・コメント手続

実施後、保健医療対策協議会へ最終案を提出し、市長への答申を行う。パブリック・コメント手続実施後、大幅な変更が生じた場合は、第4回横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会を現地または書面にて開催する可能性がある。その際は再度連絡する。

なお、パブリック・コメント手続の結果、軽微な修正の場合は、事務局で判断し修正したいと思っているがよろしいか。

・部会長より、意見、質問等を求めた。

事務局回答 パブリック・コメント手続の際の最終案は改めて部会員の皆様に送付するので、確認いただきたい。

部会長 その提案について、意見がないようでしたら、事務局提案のとおり大幅な修正の場合は、第4回横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会を開催、軽微な修正の場合は事務局が作成したものを保健医療対策協議会に答申案として提出する。

ここより先の進行は、事務局が行った。

6 閉会 事務局（健康部健康増進課長）が司会となり閉会した。

横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会の議事録及び会議資料について、市政情報コーナーで公開し、それに伴い部会名簿に記載された内容で公開することを了承願いたい。

今回は令和6年度の予定。パブリック・コメント手続の結果により、大幅な修正が生じた場合は、第4回横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会を開催する必要があるため改めて連絡する。

(以上)